

大坂正明さん救援会ニュース

第55号

2025年5月1日

星野国賠勝利の力で大坂奪還へ 5・30 総決起集会に集まろう



懲役 20 年判決粉碎、大坂さん奪還の控訴審闘争に勝利するぞ！ 東京高裁包囲デモに 50 人（4 月 17 日 霞が関）

5 月 30 日、弁護士会館講堂クレオにて、「星野国賠に勝利したぞ！大坂控訴審に勝利しよう！5・30 総決起集会」を開催します。皆様の参加を訴えます。

この集会は今も獄中ででつち上げ政治弾圧と闘い続ける大坂正明さんを絶対に奪還するための集会です。星野文昭さんの獄死から 6 年、全国の仲間が怒りを燃やして全力で国賠を闘い、ついに画期的勝利を切り開きました。国家犯罪を徹底的に暴き、労働者民衆の怒りを組織してきました。獄死の責任を国に認めさせるまで裁判所を徹底的に追い詰めたこの力を、いまこそ大坂さん奪還へ注ぎ込もう！

またこの集会は、星野と大坂の救援会と運動を統一し、新たな出発をかちとる集会です。大坂控訴審の戦場は反動の牙城・東京高裁です。中国侵略戦争情勢下、治安弾圧として掛けられた一審 20 年の反動判決をぶっ飛ばすために、救援運動の思い切

った飛躍をかちとろう。救援会に集う仲間は、「大坂奪還」という一つの大きな目標に向かって一糸乱れぬ団結で闘いぬこう。全国で猛然と署名を集め、労働者民衆の怒りを組織して東京高裁に攻め上ろう。その迫力が、真剣さが裁判所を動かす力です。

**裁判所に怒りの声を！
高裁申入行動に集まろう**

4 月 17 日、救援会は東京高裁に対する連続行動の第一弾として、霞が関デモと東京高裁前街宣を闘いました。全学連の若い仲間が 4 月新歓闘争渦中での仲間の不当逮捕に怒り、戦時弾圧と闘う決意を鮮明に、大坂さん解放を熱烈に訴えました。

大坂さんへの一審懲役 20 年判決を打ち破る、東京高裁への連

続行動に集まろう。労働者民衆の怒りをたたきつけよう！

**安保沖縄闘争を全力で闘い
5・30 集会で新たな一歩を**

5、6 月沖縄闘争・反戦闘争と一体で大坂解放署名 5000 筆を集め、裁判所提出行動に立とう。今年も 5・15 沖縄現地闘争で大坂街宣を闘います。さらに全国で大坂街宣を計画し、反戦闘争を力強く組織しよう。

戦争情勢下、弾圧にひるまない青年・学生らの力ある隊列の登場は、救援運動の飛躍と変革も求めています。5・30 集会をこうした情勢にこたえるものとして勝ち取り、安保・沖縄闘争弾圧と半世紀以上闘い勝利してきた星野・大坂闘争の未来へ、歴史的な一歩を踏み出そう！

星野国賠に勝利したぞ！ 大坂控訴審に勝利しよう！

5・30 総決起集会

5 月 30 日（金）18 時 30 分、集会開始

弁護士会館講堂クレオ

「大坂正明さん救援会ニュース」は 6 月号より、「星野・大坂救援会ニュース」にリニューアルします
今後ともよろしく願います

大坂さん面会記

大坂正明さんとの面会を共有し
地域での街宣署名活動が大前進

8・6ヒロシマ暴処法弾圧被告 西納岳史

多くの方々のご尽力で暴処法弾圧を打ち破り、昨年末に広島拘置所から階級闘争の隊列に再合流して以来、何としても大坂さんとお会いして奪還の決意をお伝えしたいと思っていました。それ以上に、私自身の獄中闘争は、大坂さんと星野文昭さんの壮絶な闘いの一端を主体化する日々としてもありました。

4月13日、東京拘置所の面会室でお会いした大坂さんの印象は、温厚な雰囲気の中にも獄中闘争を闘う強靱さがみなぎる方だと感じました。お話ししたことは、医療が不当に制限されているため視力検査なしで眼鏡を新調しなければならなかったこと、東京・広島の中処遇の共通点・相違点、桜やつつじなど季節の花の話題(「広島拘置所は生花の差し入れを認めています」と話したら「それは不当だね」と怒っておられました。東京拘置所は生花の差し入れは可

能だそうですが、これも不当なことに花瓶の所持が認められないとのこと。「バケツに挿す花は面白くないよね。つばみの花はなぜかうまく咲いてくれないんだ」と等々、20分の面会時間があつという間でした。面会を終えて帰路に就く間、大坂さんが既に8年にも及ぶ獄中生活を強いられている一方、9カ月半で保釈を勝ち取り、かりそめにも「自由の身」にある自分自身が出来ないことをなすべきなのかをずっと考えていました。共産主義者として、大坂さんを取り戻すため、全人民の解放を勝ち取るため、これまで以上に命を燃やし闘い抜く…結論はこれしかありません。

翌々日の大阪大学での街頭宣伝では、署名用紙とリーフレットを受け取りその場で全部読んだ学生が「事情は理解しました」と署名に応じてくれました。豊中駅での街頭宣伝では、沖縄デモー反戦デモ（26日大阪・27日東京）のビラを配布し「安保・沖縄闘争を闘い、無実の罪で囚われている大坂正明さんを必ず取り戻そう」と訴え、1時間5人の展開で12筆もの署名が集まりました（近年の地域街宣では最高の数です）。

新年度を迎えた直後から、ビラを受け取る層・署名に応じる層が明確に一変しています。若者・現役世代が戦争の危機を直視し行動を求めていることを実感します。また、面会行動を仲間と共有することで、街頭宣伝やオルグの意識性・主体性がより強固なものになることは、運動の大きな前進に直結します。

5千筆署名の達成から、巨万の労働者民衆の力で大坂さん奪

還闘争の爆発へ！ 自らの暴処
法弾圧完全粉碎の闘い、そして
中国侵略戦争阻止の反戦政治闘
争と一体で、これからも最先頭
で闘う決意です。

大坂さん絶対奪還へ、今が決戦局面！
5000署名を集め東京高裁に迫ろう

大坂控訴審は今年2月末に檢察の答弁書が出ました。いつ公判期日が指定されてもおかしくない情勢に入っています。一審判決をぶっ飛ばすには、高裁に事実調べを行わせることが必要です。無実の大坂さん解放を求める署名を全力で集め、高裁提出行動を闘おう！ 全国で5千筆の署名を安保・沖縄闘争と一体で集めよう！

リーフは署名集めの武器

新しいリーフレットができました。署名集めの力強い武器としてご利用ください。

A3用紙6つ折りフルカラー
街宣で使いやすいコンパクトサ

イズ。1部10円で頒布します。

注文は星野・大坂救援会まで。



全学連が登場するとあちこちで若者の討論の輪ができる。反戦闘争を訴える中で、大坂署名も集まる（4月27日 東京・渋谷ハチ公前）

基地のない沖縄を求めて聞いた
大坂正明さんは無実！



1971年11月14日、東京・渋谷で沖縄返還協定批准に反対する大きなデモがありました。校や米軍基地を沖縄に押し付けるベトナム返還に反対し、沖縄の人々と連帯する絶対反戦の闘いでした。

大坂正明さんはデモに参加し、「殺人罪」をでっち上げられました。

指名手配46年！ 一貫して無実を訴えらるも、2017年逮捕、2023年一審で無罪20年。司法犯罪を許さず 大坂さんを取り戻そう！

大坂正明さん救援会 連絡先 東京都港区新橋2-8-16
石田ビル4階 (TEL.03-6822-5049)

袴田事件とおなじ、捜査機関によるでっち上げ



「目撃した」という調書はねつ造



大坂さんは現場写真に写っていない



大坂さん面会記

星野国賠の画期的勝利に続き 神奈川も全力で大坂控訴審を闘う

神奈川労組交流センター 上田豊

4月15日（火）、改憲・戦争阻止！大行進神奈川事務局長の船木明貴さん、神奈川・星野さんを取り戻す会の土屋翼さん、私の3人で東京拘置所の大坂正明さんに面会をしました。

午後2時に面会所で待ち合わせ、まず面会受付用紙を出しアナウンスを待ちました。午後3時前にやっと呼び出しがあり10階にある面会室に向かいました。しばらくすると、大坂さんが笑顔で入室。約15分の面会となりました。



星野絵画展で大坂企画挑戦を決め、横浜駅前で大坂署名にとりくむ（昨年11月）

大坂さんは大坂救済会リーフの写真ともちろん同じですが、日が当たらないので色白くなつて少しやせたようですが、元気で終始笑顔で話されていました。

それぞれ自己紹介をして、拘置所での生活、運動や食事、住環境などの話をしました。運動場は舎房の屋上だから陽の光が入りそうですが、全く外が見えないようになっていて陽が当たらないということでした。「裁判が長すぎるのが問題ですが、太陽光も当たり前に浴びることができることが必要なのでは？」獄中処遇の改善が必要だと思います（土屋）というのは全くその通りだと思います。

拘置所の環境は非人間的

私が東京拘置所に勾留されていたのは1977年（5・23狭山闘争）、1985年から89年（85年浅草橋戦闘）でしたが、運動は一階の舎房の端にある鳥小



大坂解放横断幕を張って署名活動（4月21日 横浜駅前）

屋のような狭い運動場でしたが、まだ四季の移り変わりを感じることができました。面会所もたしかにきれいになって表面上はよくなっているかのような感じもしましたが、抑圧装置としての本質は何一つ変わっておらず、勾留されている人たちにとってはいより劣悪な環境となっていると思いました。桜の写真（横浜市大岡川周辺、蒔田公園など）や大行進神奈川集会の資料などを差し入れました。

面会直前に星野国賠の画期的勝利がありました。この勝利に続いて大坂控訴審勝利へ全力で闘うことを誓い面会を終えました。

大坂控訴審はいつ公判が始まってもおかしくない情勢です。闘いの局面とポイントを弁護団に聞きました（文責事務局）。

●反論書提出し闘う

控訴審で検事は答弁書を出さないことも多い。今回の答弁書のように長いものは珍しい。

弁護団は、学者の供述分析や鑑定意見書、新しい陳述書を準備して控訴趣意書及び補充書を提出してきた。さらに新しい証拠の作成も視野にいれつつ、答弁書に対する反論書を準備している。反論書は、手続上求められているものではないが、検事の答弁書に対する更なる批判として、論点を明確にしていくなめに必要と考える。

●目撃供述のねつ造を追及

検事の答弁書は、弁護団の控訴趣意書の中心である「事実誤認（Ⅱ大坂さんを目撃したという供述はねつ造されたもの）」の主張への反論が軸だ。地裁判決の構成を踏襲し「『共犯者』らの目撃供述の信用性」と「識別供述（目撃した人が大坂さんだと識別したⅡ写真選別）の信用性」と二つに分けて論じているが、

弁護団に聞く 控訴審のポイント

判決をなぞり「判決の判断で間違いない」と言っているだけだ。浜田寿美男先生らの「供述分析」は、取調がどのようにされたのかの実態をみごとに明らかにした。検事は打撃を受け「調書に何をどのように書くかは取調官の勝手だ」と開き直った。取調の実情をさらに示すことができるよう取り組んでいく。

●証拠調べが必要

弁護側証人をすべて虚偽供述だとか、記憶の汚染と言って罵倒しているが、偏見に基づいた判断だ。弁護側証人の合理的で客観的事実とも合致した供述は真実を明らかにするものだ。

公判前整理手続きや裁判員裁判の導入以降、控訴審における事実調べは激減している。しかし、浜田先生や他の学者の方々によつて新たに顕出された論点がある。A Oらの「目撃供述」について、供述経過の精査は絶対に必要だ。地裁判決のような、公判供述を無視し、調書に依拠する事実認定は許されない。真実と正義のために、控訴審で新たな証拠調べが必要だ。高裁へ強く要求し闘う。

星野救援会との一体化について

沖縄闘争・反戦闘争への戦時弾圧にうち勝ち 大坂奪還へ一点集中する運動と体制つくろう

「星野と大坂の闘いを一つに」
「星野闘争の全地平を大坂奪還へ」
昨年星野総会での大方針が確認されて以降、大坂救援会は星野全国再審連絡会議とともに様々な会議を重ねながら闘いの統一を進めてきました。

中国侵略戦争情勢のもと、戦時弾圧を粉砕する闘いは反戦闘争の発展にとってますます重要な課題となっています。70年安保・沖縄闘争以来の政治弾圧と闘いぬき勝利してきた星野・大坂の救援運動がその闘いの先頭に立つ時です。



戦時弾圧ぶっ飛ばせ！逮捕おそれず進む反戦デモ。4・28 闘争に830名（4月27日 渋谷）

星野国賠勝利の力で

この間、星野絵画展の企画や内容の今日の変革と発展が次々とちとられ、大坂さん解放署名も各地で取り組まれるようになりました。この決定的な闘いをさらに力強く推し進めていくには、歴史的経緯から別々に作られてきた星野と大坂の救援運動を、この大情勢にあつて名実ともに一つの闘いに押し上げることが必要と確信します。

3月24日、星野国賠は一番で画期的勝利を勝ち取りました。国家権力による星野さん虐殺を許さない、中国侵略戦争を許さないという全国の労働者民衆の怒りが国家権力を徹底的に追い詰めています。国賠勝利後に開催した星野・大坂救援会合同会議において、「この力の一切を、今も獄中で不屈に闘う大坂正明さんの奪還へ注ぎ込もう！」と、組織と運動の統一が、以下の通り力強く確認されました。

① 5・30集会を、両救援会の統一に向けた闘いとして勝ち取る
② 両救援会の機関紙を6月から一つに統合する

③ 8月に星野・大坂合同総会を開催し、総会決議をもって正式に新組織に移行する。全国の救援会はこの闘いに合流し、必要な組織体制の改革に取り組む

星野・大坂精神で闘おう

救援会の会員の皆様、これまでご助力いただいた多くの皆様には、様々な思いもあるかと思えます。そうした一切を、究極的な勝利に向けて心を一つにしたいだけだと思います。

私たちは星野さん大坂さんの闘いとともにある救援会です。全力で反戦闘争を闘おう。そして戦時弾圧と闘い大坂さんの奪還へ、力を一点集中しよう！

当面する大きな闘いは、東京高裁に事実調べを行わせることです。大坂さん解放を求める署名を5月中旬に5千筆集め、大衆的な救援運動の力で高裁に迫っていきます。全国で「大坂解放」の声を高め、安保・沖縄闘争と一体で勝利へ向かいましょう。皆様のご協力をよろしくお願ひします。

インフォメーション

● 大坂さん解放 東京高裁申入行動

5月8日（木）正午、裁判所前街宣
13時30分、申し入れ＆署名提出行動

● 5・15沖縄闘争

5月17日（土）15時30分、「復帰」53年5・

15沖縄集会（青年会館大ホール）／18時30分、国際通りデモ（県庁前集合）

5月18日（日）13時、勝連分屯地抗議行動（陸自勝連分屯地正門前）／16時、

沖縄県庁前街宣（パレットくもじ前）

5月19日（月）8時30分、辺野古土砂搬入阻止闘争（辺野古ゲート前）／12時30分、那覇駐屯地抗議行動

主催 改憲・戦争阻止！大行進沖縄

● 星野国賠に勝利したぞ！ 大坂控訴審に勝利しよう！ 5・30総決起集会

5月30日（金）午後6時30分
弁護士会館講堂クレオ

● トランプ・石破打倒！ 米日の中国侵略戦争阻止！ 全国集会＆大行進

6月14日（土）午後1時 芝公園23号地
主催 「改憲・戦争阻止！大行進」実行委

● 国鉄闘争全国運動6・15全国集会

6月15日（日）午後1時30分
千葉市民会館大ホール

主催 国鉄闘争全国運動

東京高裁申入行動&大街宣

5月8日（木）12時、13時、裁判所街宣

13時半、高裁申入行動

5月18日（日）16時、18時、沖縄街宣

（県庁前交差点・パレットくもじ前）

6月19日（木）霞が関デモ・裁判所行動

《発行》大坂正明さん救援会

〒105-0004

東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-6822-5049

救援会ニュース 第55号 頒価50円（会員無料）

会費 1口3000円（6か月）／振替 00140-7-635858

Email oosakaen@yahoo.co.jp

BLOG <http://oosaka1114.blog.jp/>

